

一 般 質 問 通 告 書

発言順位（ 1 番 ）えびの市議会議員 増田 輝

質 問 の 項 目	項 目 の 具 体 的 内 容 （ 項 目 に 沿 い 具 体 的 に 記 載 し て 下 さ い ）	答 弁 者
1. 高齢者へのタクシーチケットについて	(1) 現在のタクシーチケットの個人負担割合はどれほどなのか伺う。 (2) 市で5割負担することはできないか伺う。	担当課長
2. 災害時の入浴困難の被災者に対しての市内の温泉施設との協力要請体制について	(1) 市内の災害時に入浴困難な被災者が出た場合に、市内の入浴施設との協力支援の協定は出来ているのか伺う。 (2) 市内のホテルや旅館などに宿泊されている観光客が被災した場合の避難経路や避難場所への誘導はどうなっているのか伺う。	市長、担当課長
3. 避難場所について	(1) 白鳥温泉等と連携して災害時には避難者を受け入れてもらえないか伺う。	市長、担当課長
4. 避難所設備について	(1) 災害時の簡易トイレ Tent、トイレセット及びラップポンの在庫はあるのか伺う。 またある場合は在庫数を伺う。	市長、担当課長
5. 市役所や管内施設の節電について	(1) 市役所や管内施設（小・中学校や文化センター等）の光熱費は毎月どれくらいかかっているのか伺う。 (2) 冷房や暖房で使用する電気代は、どれくらいかかっているのか伺う。 (3) 議場に設置されている電動シーリングファンは、市役所の中に取り付けられないか伺う。 (4) 空気循環ファンは取り付けられないか伺う。	市長、教育長、 担当課長
6. 市立病院を含む地域医療及び駐車場について	(1) 市立病院の整形外科（電気治療のみやリハビリテーションを含む）の過去10年間の利用患者数の推移を伺う。 (2) 患者数が増加した理由を伺う。 (3) えびの市における整形外科及び整骨院（または接骨院）数の推移を伺う。	市長、担当課長

質 問 の 項 目	項 目 の 具 体 的 内 容 （ 項 目 に 沿 い 具 体 的 に 記 載 し て 下 さ い ）	答 弁 者
7. 議員と語ろう会で出された意見について	(4) 市立病院の整形外科(電気治療のみやリハビリテーションも含む)は待ち時間が長いと言われているが、ドクターによる診察の患者と、リハビリのみの患者を窓口に来た時に分けることが出来ないか伺う。 (5) 過去使用していた外科の病室を使用し、電気治療のみの患者はそちらで治療する事が出来ないか伺う。 (6) 昨今市立病院の駐車場が、満車でなかなか車を停める場所がないとの意見を聞くがどのような状況なのか伺う。 (7) 市立病院の裏手の旧幼稚園の駐車場は、えびの市のものではないのか伺う。 またその駐車場を市立病院の駐車場として使用出来ないか伺う。 (8) 旧えびの警察署の空き地は、職員の駐車場として利用出来ないか伺う。 (1) 防災士の普及する場所(本部)がないので、本部になる場所を設置する考えはないか伺う。 (2) 職員で草刈り隊を組織出来ないか伺う。	市長、担当課長

一 般 質 問 通 告 書

発言順位（ 2 番 ）えびの市議会議員 戒谷 暁

質 問 の 項 目	項 目 の 具 体 的 内 容 （ 項 目 に 沿 い 具 体 的 に 記 載 し て 下 さ い ）	答 弁 者
1. 市内小中学生の遠距離通学支援について	(1) 学校の適正配置基準とされる通学距離(小学校4km、中学校6km)を超える児童生徒、約80名に対して現状どのような支援が行われているか。 (2) 保護者による送迎の実態調査は行っているか。 (3) 保護者による送迎が行われている状況を、市としてはどのように捉えているか。 (4) 追加で検討している支援にはどのようなものがあるか。 (5) 地域の事情に合わせた支援(生徒数の多いエリアはスクールバス、少ないエリアは乗り合いタクシー等)といった効率的かつ柔軟な支援策を検討できないか。	市長、教育長、担当課長
2. えびの市観光施設の運営について	(1) えびの市観光施設条例記載の施設(白鳥温泉上湯、下湯、矢岳高原ベルトンオートキャンプ場、えびの高原キャンプ村)はどのような目的で設置されているのか。 (2) それぞれの観光施設に、具体的な目標設定はなされているのか。 (3) 利用者のうち、市民と市外からの観光客の割合はどの程度か。 (4) 利用料の設定は、どのような基準で行っているのか。 (5) 昨今の物価上昇に対応して利用料金の見直しも必要だと考えるが、市の見解を伺う。	担当課長
3. 防災について	(1) えびの市地域防災計画には、住宅の耐震診断と耐震補強を促進する旨の記載があるが、診断が必要な住宅は市内に何棟程度あると把握しているか。 (2) 耐震診断と耐震補強の進捗状況を伺う。 (3) 地震時の避難所については屋外のみの記載となっているが、被災時には家に帰れない被災者が出ることが想定される。地震時の避難所に指定されている屋内の施設はあるのか。 (4) 屋内の避難所施設は、現行の耐震基準に適合しているか。 (5) 「避難所における施設機能等の改善」と記載があるが、パーテーションや段ボールベッドの必要量はどのように算出しているか。 (6) 断水時のトイレの確保は、どのように行うことを想定しているか (7) 自主防災組織の運営について、防災計画に記載のある項目の実行状況を把握できているか。(令和7年度4月修正1-52(1))	市長、教育長、担当課長

質 問 の 項 目	項 目 の 具 体 的 内 容 （ 項 目 に 沿 い 具 体 的 に 記 載 し て 下 さ い ）	答 弁 者
4. 基金について	(8) 自主防災組織との情報共有、相談、改善指導などを行うための職員を配置しているか。 (1) 各基金の運用状況について伺う。 (2) 心のふるさと基金は、どのような目的で積立されているのか。 (3) 財政調整基金の適正額を、どのように設定しているか。	市長、担当課長

一 般 質 問 通 告 書

発言順位（ 3 番 ）えびの市議会議員 大平落 哲郎

質 問 の 項 目	項 目 の 具 体 的 内 容 （ 項 目 に 沿 い 具 体 的 に 記 載 し て 下 さ い ）	答 弁 者
1. 本市の消防団について	(1) 消防団員の確保状況について ①本市消防団においては、人口減少等の影響もあり、今年度も団員数が減少していると認識している。現在の団員数及び過去10年間の推移について伺う。 ②消防団員の減少により、現在の消防団活動や災害対応において、支障や課題等が生じているのか伺う。 ③今後、さらなる団員の減少が懸念される中、団員の確保に向けて、本市としてどのような具体的な取組を進めていくのか伺う。 (2) 消防ポンプ車を運転できる団員について ①本市消防団における消防ポンプ車の運転が可能な団員の人数及び各分団における配置状況について伺う。また、現状において、運転資格を有する団員の確保に課題はないのか伺う。 ②消防ポンプ車の運転に必要な準中型免許等の取得について、本市として、消防団員に対する費用助成や取得に向けた支援制度を設ける等、消防団員が必要な免許を取得しやすい環境を整備する必要があると考えるが、見解を伺う。 (3) 消防団員へのアンケート調査について 消防団員の活動実態や意見、団員確保に関する課題等を把握するため、これまで本市において消防団員を対象としたアンケート調査等を実施したことがあるのか伺う。	市長、担当課長
2. 本市の教育について	(1) ICTの活用と睡眠教育について ①本市の学校教育におけるICTの活用について、現在どのような問題や課題が指摘されていると認識しているのか伺う。 ②睡眠の重要性や適切な生活習慣について学ぶ「みんなく(睡眠教育)」を本市の学校教育に取り入れてはどうかと考えるが、見解を伺う。	市長、教育長、 担当課長

質 問 の 項 目	項 目 の 具 体 的 内 容 （ 項 目 に 沿 い 具 体 的 に 記 載 し て 下 さ い ）	答 弁 者
	(2) 学校給食について ①毎回牛乳を提供している目的や根拠について伺う。 ②本市の小中学校において、アレルギーや乳糖不耐症等により、牛乳を飲むことができない児童生徒の人数及び割合について伺う。 ③「ひむか地産地消献立」など、宮崎県産や本市を含む地域の食材を重点的に活用する給食の日には、牛乳に替えてお茶を提供する取組を行ってはどうかと考えるが、見解を伺う。	

一 般 質 問 通 告 書

発言順位（ 4 番 ）えびの市議会議員 末原 由美子

質 問 の 項 目	項 目 の 具 体 的 内 容 （ 項 目 に 沿 い 具 体 的 に 記 載 し て 下 さ い ）	答 弁 者
1. 新規就農について	(1) 7月の議員と語ろう会において、地域の農地を活用したくても高齢化などにより、耕作されず荒れている農地が増えているため新規就農者を増やす対策をしてほしいと意見があった。こうした地域の声を踏まえて、市として今後どのように取り組んでいくのか伺う。 (2) 新規就農者をえびの市に呼び込み、就農後も地域に定着してもらうため、市の考えを伺う。 (3) 新規就農者を増やし、農地の荒廃を防ぐために、国の制度に加えて、えびの市独自の新規就農者への支援制度を創設する考えがないか伺う。 (4) 新規就農者の農地確保として、農業委員会による、スタンバイ農地事業に取り組んでいると承知しているが、現在登録されている農地は、どの程度あるのか。また、その農地が実際に新規就農者の就農につながった実績は、過去5年間でどの程度あるのか伺う。	市長、担当課長、 農業委員会事務局 局長
2. 学校教育における 地域の人材・経験 を活かした学びに ついて	(1) 学校教育において、地域の人材や経験を活かした学びを取り入れることについて、教育長はどのように考えておられるか伺う。 (2) 現在、えびの市の小中学校では、地域の方々が持つ知識や経験、技術を活かした授業や体験活動をどのような分野で、どのように取り組んでおられるか伺う。 (3) 地域には、長年培ってきた知識や技術を持つ方がたくさんいらっしゃる。こうした地域の人材を学校教育の中でさらに活用していく。このような取組を通して、子どもたちと地域の方々との世代間交流につなげていくことについて考えを伺う。	市長、教育長、 担当課長
3. 宿泊施設における 災害時の避難対策 について	(1) 京町温泉には、部活動の大会や合宿等で市外・県外からも学生が宿泊している。地震や風水害など災害が発生した場合、宿泊施設において宿泊者に避難場所や避難経路など案内が行われているか伺う。 (2) 令和9年度は、宮崎県で国スポ・障スポが開催され、多くの関係者が県内を訪れることから、えびの市への宿泊も増えることが予想される。土地勘のない宿泊者が安心して避難できるように市として、宿泊施設と連携した避難対策を進める考えがあるのか伺う。	市長、教育長、 担当課長

一 般 質 問 通 告 書

発言順位（ 5 番 ）えびの市議会議員 小宮 寧子

質 問 の 項 目	項 目 の 具 体 的 内 容 （ 項 目 に 沿 い 具 体 的 に 記 載 し て 下 さ い ）	答 弁 者
1. 防災について	(1) 指定避難所の空調整備について ①指定避難所の空調設備の設置状況について伺う。 ②小中学校体育館の空調整備の計画について伺う。 (2) 避難所におけるスフィア基準を踏まえた避難生活環境の確保に向けた対策について ①トイレ対策について伺う。 ②ベッドの備蓄の状況について伺う。 ③暑さ、熱中症対策について伺う。 ④生活用水の確保について伺う。（災害時協力井戸の活用についても伺う。） ⑤プライバシー保護のための対策について伺う。 (3) 国の防災力強化総合交付金の活用はどのように考えているか。 (4) 福祉避難所について ①精神疾患や重度の障がいのある人が一般避難所を経由せず、日頃利用している施設等へ直接避難できるような体制づくりはできないか。 ②一般の避難所では、妊産婦や乳児を抱えての避難は周囲への気兼ねから助けを求められず孤立しやすい。母子専用の避難所の確保はできないか。 (5) 災害時における他の自治体からの応援職員の受け入れ体制について ①本市は人的応援の受入れに関する受援計画は策定されているか。 ②避難所運営、住家被害認定、罹災証明書交付、被災者相談など災害時に必要となる職員数と不足が見込まれる職員数を事前に把握しているか。 ③被害状況が完全に判明するまで待っていると応援要請が遅れる可能性が出てくるが、応援要請を判断する基準はどのようなになっているか。	市長、教育長、 担当課長

質 問 の 項 目	項 目 の 具 体 的 内 容 （ 項 目 に 沿 い 具 体 的 に 記 載 し て 下 さ い ）	答 弁 者
2. 带状疱疹ワクチン接種について	④県や相互応援協定の締結自治体、応急対策職員派遣制度など人的支援を求める複数のルートはどのように整理されているか。 ⑤応援職員の受入れを総括する体制や宿泊場所、各部署への配置等整備されているか。 ⑥人的応援を要請し、応援職員を受け入れることを想定した訓練を実施しているか。 (1) 带状疱疹ワクチンの定期接種が2025年4月から開始された。本市の接種状況はどのようになっているか。 (2) 公費での接種は生涯で1回限りであるが、带状疱疹ワクチンの定期接種事業について理解不足の人も多い。対象者へどのような周知を行っているか。 (3) 接種率を上げるために再通知を行う考えはないか。 (4) 宮崎市では、定期接種の狭間にあたる年齢(66～69歳、71～74歳)の人にワクチンを早期に接種できるよう市独自に対象年齢を拡大し接種費用の一部助成を行っている。本市は市独自の接種費用の助成を行う考えはないか。	市長、担当課長

一 般 質 問 通 告 書

発言順位（ 6 番 ）えびの市議会議員 松窪 ミツエ

質 問 の 項 目	項 目 の 具 体 的 内 容 （ 項 目 に 沿 い 具 体 的 に 記 載 し て 下 さ い ）	答 弁 者
1. えびの市自治基本条例に基づく住民投票制度について	(1) 自治基本条例に基づく住民投票制度のあり方と、個別型住民投票条例から常設型住民投票条例に変更することへの見解について伺う。 ①えびの市自治基本条例第23条(住民投票)における、これまでの制度趣旨と個別型住民投票条例を採用している理由について伺う。 ②他自治体の運用状況を踏まえ、えびの市において常設型住民投票条例を導入した場合の行政運営上の課題やコスト、メリットについての市の見解を伺う。 ③市民から「常設型住民投票条例にすべき」との意見が寄せられていることを受け、今後の自治基本条例の検証や見直しのプロセスにおいて、市民討論会や審議会等で住民投票制度のあり方を再議論する場を設ける用意があるか、見解を伺う。	市長、担当課長
2. ふるさと納税について	(1) えびの市ふるさと納税の今後の推進戦略について伺う。 ①現状と課題について a. 市内事業者だけでは対応できない商品開発や販路開拓について伺う。 b. ポータルサイトについて伺う。 ・契約しているポータルサイトの数を伺う。 ・売上の上位4社が占める割合は全体の何%か伺う。 ・売上の伸びないサイトは、契約解除も含めて検討する考えはないか伺う。 ②返礼品の開拓と魅力向上について a. 眠っている地域資源や、第一次産業・加工品等の新発掘に向けた具体策について伺う。 b. リピーターを増やすためのセット商品やストーリー性のある企画開発について伺う。 ③他自治体との産品協定の推進について a. 近隣自治体や友好都市などを想定した、産品の地域協定の取り組みについて伺う。	市長、担当課長
3. 大型風力発電の設置計画について	(1) えびの市に設置が計画されている「(仮称)伊佐・えびの・人吉風力発電事業」の環境影響評価法に基づいた市長の意見書について伺う。	市長、担当課長

一 般 質 問 通 告 書

発言順位（ 7 番 ）えびの市議会議員 本田 英俊

質 問 の 項 目	項 目 の 具 体 的 内 容 （ 項 目 に 沿 い 具 体 的 に 記 載 し て 下 さ い ）	答 弁 者
1. えびの市の再生可能エネルギーの取り組みと災害時の対応について	(1) 「えびの市地域再生可能エネルギービジョン」について ①ビジョンの達成状況について伺う。 ②えびの市における再生可能エネルギーの普及や地産地消について、市長の考えを伺う。 ③太陽光発電について、これから市独自の計画はあるか伺う。 ④現在計画中の風力発電について伺う。 ⑤現在計画中の地熱発電への協力について伺う。 ⑥再生可能エネルギーによる地域経済への還元について伺う。 (2) 災害時の再生可能エネルギー利用について ①道の駅えびのや防災食育センターでの活用について伺う。 ②市庁舎ではソーラーカーポートを設置してはどうか伺う。 ③電気自動車の活用、利用方法について伺う。 ④民間の電気自動車の活用は出来ないか伺う。 (3) 「地球温暖化対策の推進に関する法律」第21条に基づく地方公共団体実行計画について ①「えびの市の地方公共団体実行計画（事務事業編）」の現況と目標に対する進捗率について伺う。 ②削減効果の大きい施設から省エネ、再エネ対策を実施する考えはないか伺う。	市長、担当課長
2. 市の施設の電気代について	(1) 電気代、単価について ①施設ごとに電気単価が大きく異なるのはなぜか伺う。 ②道の駅えびのの電気単価が安く、学校関係施設が高い理由を伺う。 ③電気の契約は常に安くなるように見直しているのか伺う。	市長、教育長、 担当課長